

経営比較分析表（令和3年度決算）

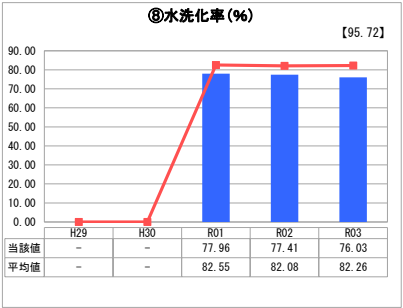
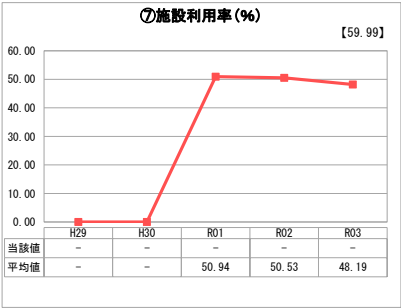
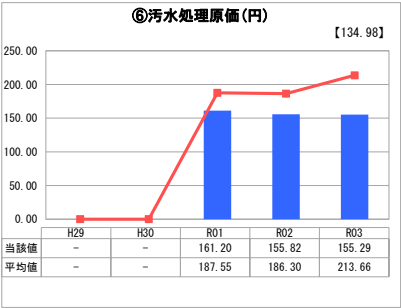
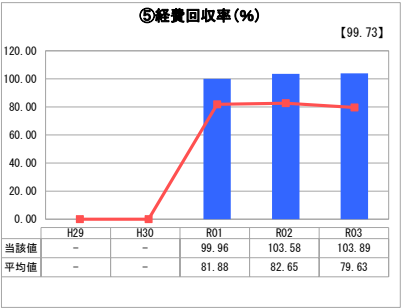
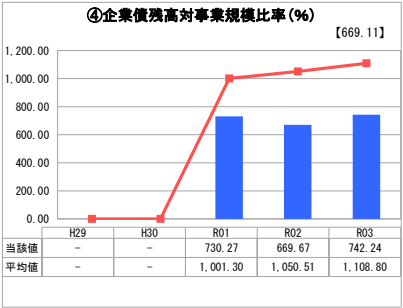
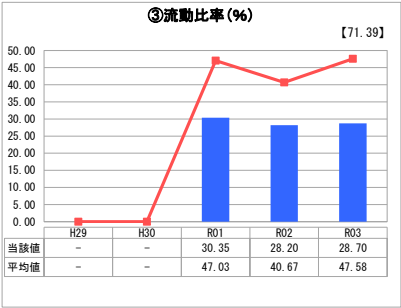
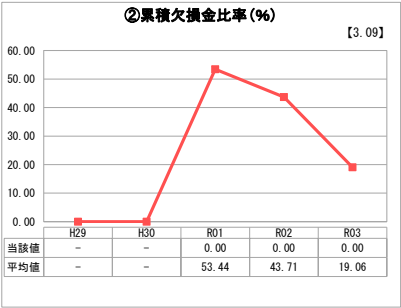
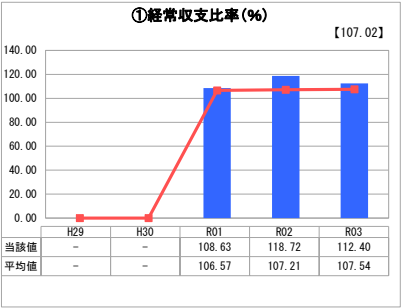
岐阜県 御嵩町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.49	77.88	66.01	3,300

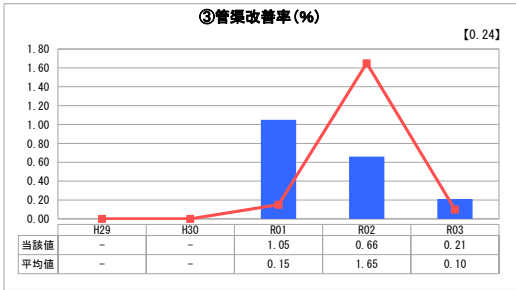
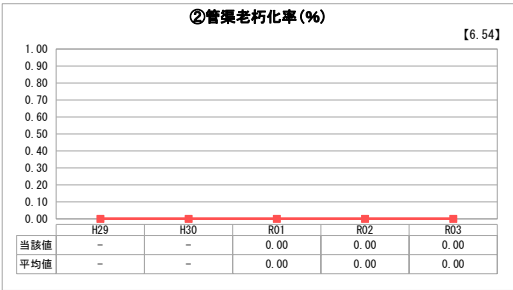
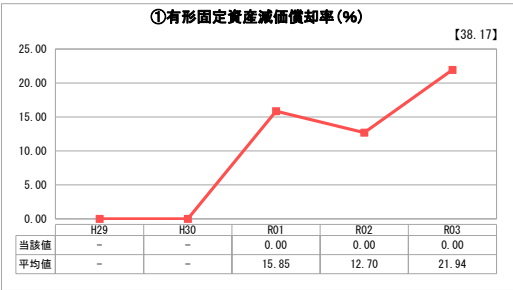
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,968	56.69	316.95
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,882	5.57	2,492.28

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値） 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%以上となっており、今後も経営改善に向けた取組を継続していきます。
②累積欠損金比率
累積欠損金が発生していないため0%となっています。
③流動比率
100%未満であるものの、流動負債には建設改良費等に充てられた企業債が含まれています。
④企業債残高対事業規模比率
企業債の借入を年1億円以内に抑えており、毎年借入よりも多く償還を行っていることから、類似団体と比較しても低い水準となっています。
⑤経費回収率 ⑥汚水処理原価
類似団体と比較し経費回収率は高く、汚水処理原価は低くなっていることから、今後もより一層の経営改善に向けた取組を継続していきます。
⑧水洗化率
水洗化率は、人口減少による処理区域内人口が減少したことや、接続率が低いことから類似団体と比較して低い水準となっています。そのため、今後も引き続き接続の促進を行います。

2. 老朽化の状況について

御嵩町の下水道施設は平成3年度より整備されており、平成8年度から供用開始を行っています。過去に開発された団地の汚水施設を公共下水道に接続しており、布設後40年を経過する管渠施設については、長寿命化対策事業により管渠更生を実施しました。今後、下水道施設の維持管理を行っていくため、長寿命化対策事業の対象外事業についてはストックマネジメントの導入を検討し、既存施設の点検や評価を実施することで、維持管理主体の事業に移行していきます。

全体総括

御嵩町の下水道事業は、令和元年度より地方公営企業会計を導入しました。地方公営企業会計を適用したことにより今後の経営の見通しが行いやすくなったことから、ストックマネジメントの策定及び御嵩町汚水処理施設整備構想や経営戦略の見直しを踏まえ、経営基盤の安定化を目指します。また、人口減少に伴い使用料収入の減少が見込まれる一方で、老朽化した施設の維持管理費及び更新費用の増加が見込まれることから、経費の削減に努めながら効率的な事業運営を進めていくことが必要となります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。